

# 平成 26 年度事業計画書

当財団は、今年度、財団設立後 7 事業年度を迎えます。この間に、平成 23 年 4 月 1 日に公益財団法人に移行いたしました。

昨年度は、従来の「小児の健康並びに疾病の成因、診断、治療及び予防に関する研究」助成事業と小児科医及び小児医学研究者の育成と支援のための海外留学フェロシップ事業に、「感染症及び感染症予防ワクチンに関する研究」を加えるとともに、「市民公開講座」を開催するなど、財団の公益目的事業の推進を図ってきました。

今年度は、引き続き設立来の重点事業である「小児の健康並びに疾病の成因、診断、治療及び予防に関する研究」に対する助成、専門医や若手小児科医育成のための支援事業の充実・推進を図っていくとともに、小児の健康と疾病に関する情報の提供を進めることから、広く国民に対する広報啓発活動として、「アレルギー」をテーマに市民公開講座を開催し、小児の保健と福祉の向上に努めて参ります。

## 1. 研究に対する助成

### (1) 小児の健康並びに疾病の成因、診断、治療及び予防に関する研究

#### ① 小児医学領域全般に関する研究（ただし②領域を除く）

- ア 新しい感染症や急性疾患の診断・治療に関する研究
- イ 小児の難治疾患、慢性疾患の本態解明と治療に関する研究
- ウ 生活習慣病の予防に関する研究
- エ 遺伝子治療など高度先進的医療の開発のための基礎的研究
- オ いじめ、虐待、拒食、不登校など子どもの心のケアや心身症に関する研究
- カ 生命倫理など社会的問題に関する研究
- キ 国際医療協力の基盤となる母子保健に関する研究
- ク その他、子どもの健康に関する研究

#### ② 感染症及び感染症予防ワクチンに関する研究

### (2) 助成金額

#### ① 小児医学領域全般に関する研究（ただし②領域を除く）

1 件 200 万円以内、総額 700 万円

#### ② 感染症及び感染予防ワクチンに関する研究

1 件 200 万円以内、合計 3 件程度

### (3) 助成対象者

小児医学の基礎的及び臨床的研究に従事し、日本国籍を有する医師・研究者で、平成 26 年 12 月 31 日現在 50 歳未満の者

ただし、感染症及び感染症予防ワクチンに関する研究にあっては、平成 26 年 12 月 31 日現在 40 歳未満の者とする。

(4) 募集、選考等

募集は、当財団ホームページ、当財団機関紙（子どもたちの世紀）、日本小児科学会雑誌に公告のうえ行う。

選考は、当財団選考委員会において選考のうえ、当財団理事会において決定する。

2. 海外における研究に対する助成（海外留学フェローシップ）

(1) 発達障害に関する基礎的及び臨床的研究

① 助成金額

1件 180万円以内、総額 360万円

② 助成対象者

海外の研究機関等において、標記の研究に一定期間（原則6ヶ月以内）従事する40歳未満（平成26年12月31日現在）の日本国籍を有する小児科医・研究者

(2) 感染症及び感染症予防ワクチンに関する研究

① 助成金額

1件 350万円以内、合計2件程度

② 助成対象者

海外の研究機関等において、標記の研究に一定期間（原則1年）従事する40歳未満（平成26年12月31日現在）の日本国籍を有する小児科医・ワクチンに関する研究者

(3) 募集、選考等

募集は、当財団ホームページ、当財団機関紙（子どもたちの世紀）、日本小児科学会雑誌への公告によりを行う。

選考は、当財団選考委員会において選考し、当財団理事会で決定する。

3. 研究会、研修会、講演会等に対する助成

(1) 助成金額

1件 10万円以内

(2) 助成対象研究会等

当財団企画運営委員会により協賛又は後援の承認を得たもの。

4. 小児医学・医療・保健に関する優れた研究論文に対する褒賞

(1) 褒賞金額

1件 30万円、総額 120万円

(2) 対象とする研究

① 小児医学領域全般に関する研究論文

② 発達障害に関する研究論文

(3) 褒賞対象者

平成26年12月31日現在40歳未満の者で、

① 日本小児科学会機関誌「日本小児科学会雑誌」及び「Pediatrics International」に

掲載された原著論文の筆頭著者 2 名

- ② 日本小児神経学会機関誌「脳と発達」及び「Brain&Development」、日本小児精神神経学会機関誌「小児の精神と神経」、日本小児心身医学会機関誌「子どもの心とからだ」に掲載された発達障害に関する原著論文の筆頭著者 2 名

(4) 選考等

日本小児科学会及び上記②記載の学会からそれぞれの学会誌に掲載の優秀論文の推薦を受け、当財団の選考委員会において選考のうえ、当財団理事会において決定する。

## 5. 広報啓発活動

### (1) 市民公開講座の開催

テーマ「こどものアレルギー疾患治療の最前線 (仮題)」

小児のアトピー性皮膚炎、小児喘息及び食物アレルギーについて、診断、治療法及び日常の対処法や治療の最前線についてわかりやすく解説し、また会場の参加者からの疑問、不安に応えることにより、小児のアレルギーに対する正しい知識を啓発し、アレルギー疾患の予防に努めるもの。

開催日時：平成 26 年 9 月 7 日 (日) 13 時 30 分~16 時 30 分 (予定)

場 所：東京都内 (予定)

プログラム (未確定)

#### 第 1 部 講 演

- ① こどものアトピー性皮膚炎～副作用のない外用薬の上手な使い方
- ② こどもの喘息～見分け方と最新の対応法
- ③ 食物アレルギー～最近の取り組みと食事の進め方

#### 第 2 部 参加者とのディスカッション

参加者と講師との質疑応答

### (2) 機関紙 (子どもたちの世紀) の発行

年 2 回 (第 11 号：平成 26 年 4 月 1 日発行及び第 12 号：同年 10 月 1 日発行)

### (3) 財団ホームページ (<http://www.jfpedres.or.jp>) の運営